



IPSiO SP 3410_{SF}

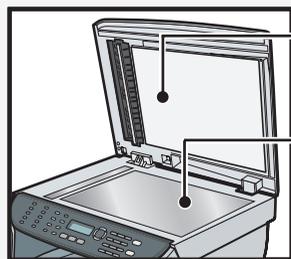
クイックガイド

各部の名称	1
コピーのかんたんな使いかた	2
スキャナーのかんたんな使いかた	3
ファクスのかんたんな使いかた	4
困ったときには	5
紙づまりを取り除く	6
トナーカートリッジの交換	7

目次

1	各部の名称	● 外観	3
		● 内部	4
		● 操作部	5
2	コピーのかんたんな使いかた	● 初期画面と基本的な使いかた	7
		● 読み取り方法を設定する	9
3	スキャナーのかんたんな使いかた	● 初期画面と基本的な使いかた	12
		● 読み取り方法を設定する	18
4	ファクスのかんたんな使いかた	● 初期画面と基本的なファクスの送りかた	19
		● ワンタッチダイヤルを登録する	22
		● 読み取り方法を設定する	24
5	困ったときには	● 操作部にメッセージが表示されたとき	25
		● きれいに印刷や読み取りができない	29
		● ファクスの送受信がうまくいかない	30
6	紙づまりを取り除く	● 本体内部 / トレイから紙づまりを取り除く	31
		● 手差しトレイから紙づまりを取り除く	33
		● 排紙口 / 両面ユニットから紙づまりを取り除く	35
		● ADF から紙づまりを取り除く	39
7	トナーカートリッジの交換	● トナーカートリッジを交換する前に	42
		● トナーカートリッジを交換する	43

外観



原稿ガラスカバー

このカバーを開けて、原稿ガラスに原稿をセットします。

原稿ガラス

原稿を1枚ずつセットします。

自動原稿送り装置（ADF）カバー

ADFに原稿がつまったときに開けます。

ADF給紙トレイ

原稿をセットします。原稿は自動的に給紙されます。
最大35枚セットできます。

ADF排紙トレイ

ADFにセットした原稿が排紙されます。

排紙トレイ/用紙ストッパー

印刷済みの用紙が排紙されます。最大125枚排紙できます。
排紙された用紙が落ちないように、ストッパーを上げてください。

前カバー/手差しトレイ

トナーカートリッジを交換したり、紙づまりを取り除くときに開けます。
手差しトレイは、前カバーの前面を開けて使用します。最大50枚セットできます。

トレイ1（標準）

最大250枚セットできます。

トレイ2（オプション）

最大250枚セットできます。

操作部

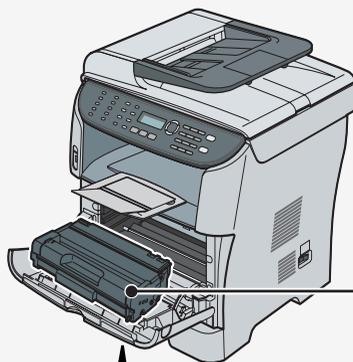
P.5~6を参照してください。

USBメモリー用のポート

スキャナーのUSBメモリー送信機能を使うときに、USBメモリーを差し込みます。

内部

1

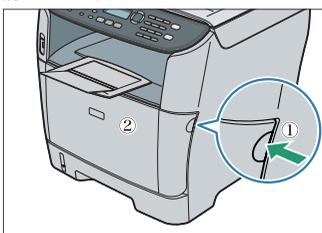


トナーカートリッジ

トナーカートリッジの交換や新しいトナーカートリッジの準備が必要なときは、画面にメッセージが表示されます。

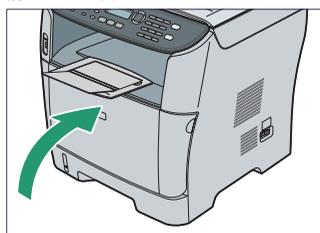
BSP408S

前カバーの開けかた



BSN209S

前カバーの閉めかた



BSP263S

操作部

画面

本機の状態やメッセージが表示されます。

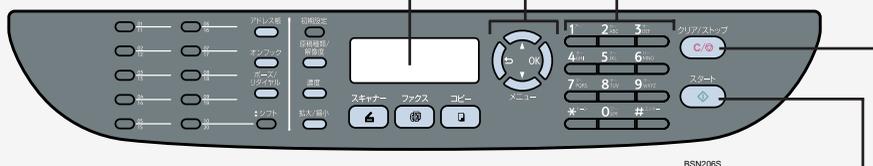
メニューキー

4つのキーのいずれかを押して、現在選択されている本機の機能（コピー、スキャナー、ファクス）に関する設定を変更するメニューを表示します。

- ・[←] (戻る) キー
前のメニューに戻ります。
- ・[▲] [▼] キー
メニューをスクロールします。文字を入力するときは、[▲] が [▼] キーを押して、カーソルを左右に動かします。
- ・[OK] キー
設定を確定したり、次のメニューに移行したりします。

テンキー

ファクス番号やコピー部数などを指定するときに数字を入力したり、名前を指定するときに文字を入力したりします。



【クリア/ストップ】キー

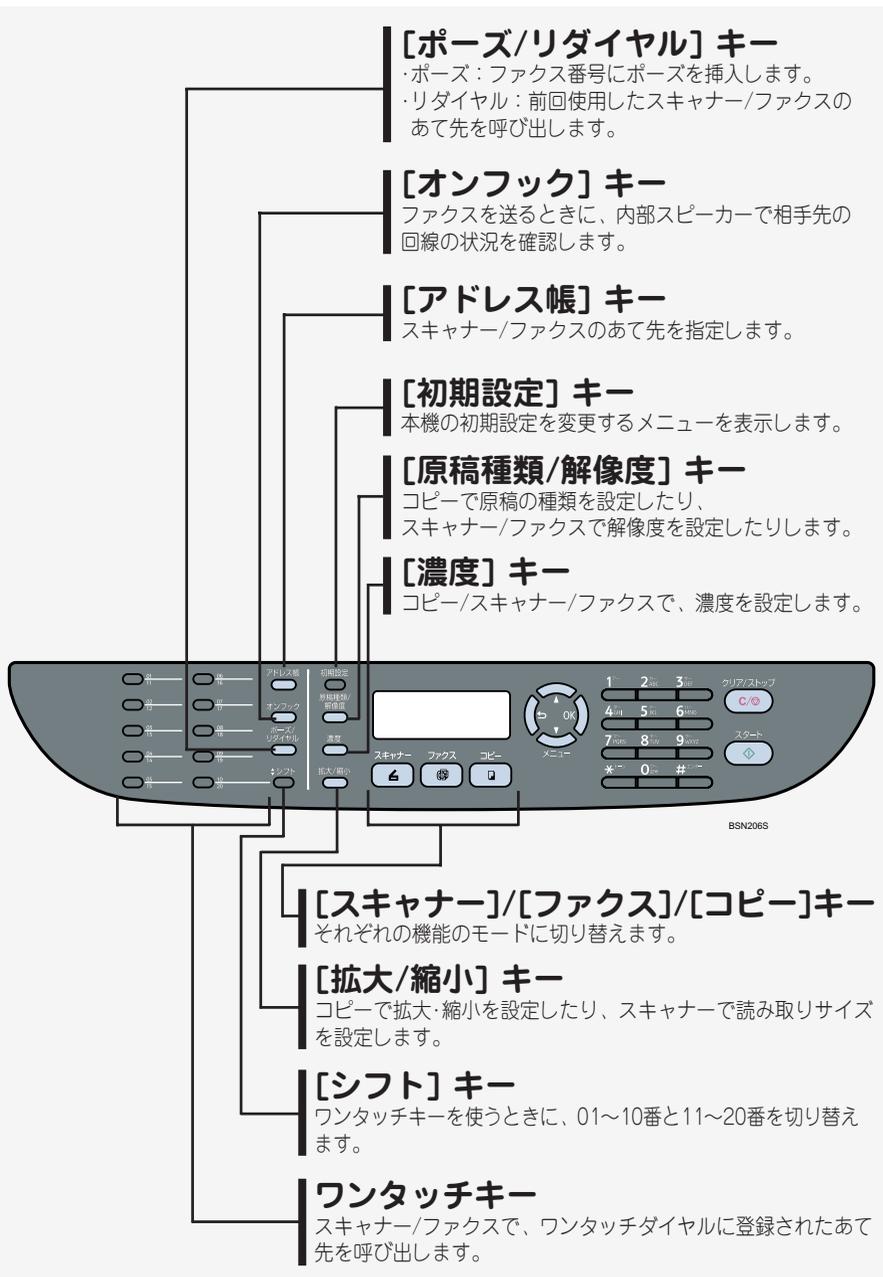
- ・ジョブの処理中：ジョブをキャンセルします。
- ・設定中：設定をキャンセルして待機状態に戻ります。
- ・待機中：濃度や解像度など、一時的な設定をキャンセルします。

【スタート】キー

コピーやスキャンを開始したり、ファクスの送信を開始します。

操作部

1



[ポーズ/リダイヤル] キー

- ・ポーズ：ファクス番号にポーズを挿入します。
- ・リダイヤル：前回使用したスキャナー/ファクスのあて先を呼び出します。

[オンフック] キー

ファクスを送るときに、内部スピーカーで相手先の回線の状況を確認します。

[アドレス帳] キー

スキャナー/ファクスのあて先を指定します。

[初期設定] キー

本機の初期設定を変更するメニューを表示します。

[原稿種類/解像度] キー

コピーで原稿の種類を設定したり、スキャナー/ファクスで解像度を設定したりします。

[濃度] キー

コピー/スキャナー/ファクスで、濃度を設定します。

[スキャナー]/[ファクス]/[コピー]キー

それぞれの機能のモードに切り替えます。

[拡大/縮小] キー

コピーで拡大・縮小を設定したり、スキャナーで読み取りサイズを設定します。

[シフト] キー

ワンタッチキーを使うときに、01～10番と11～20番を切り替えます。

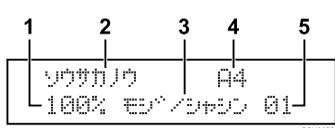
ワンタッチキー

スキャナー/ファクスで、ワンタッチダイヤルに登録されたあて先を呼び出します。

BSN206S

初期画面と基本的な使いかた

この画面は、本機がコピーモードのときの初期画面です。



1. コピーの倍率を表示します。
2. 本機の状態を表示します。
3. コピーの読み取り方法を表示します。
4. コピーの用紙サイズを表示します。
5. コピーの部数を表示します。

★重要

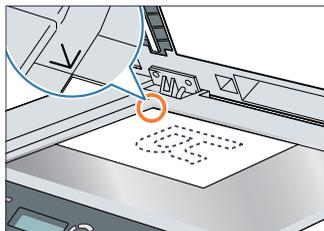
- ・ ADFと原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADFの原稿が優先されます。
- ・ 印刷品質の低下や紙づまりを防ぐために、ホッチキスの針・クリップ・付せんがついた原稿、貼り合わせた原稿、修正液やインクが完全に乾いていない原稿は使用しないでください。
- ・ ADFで原稿の両面を自動的に読み取ることはできません。上にした面だけが読み取られます。

1 [コピー] キーを押します。

2 ADFでコピーする場合は原稿の読み取り面を上にしてADFにセットし、原稿ガラスでコピーする場合は原稿の読み取り面を下にして原稿ガラスにセットします。

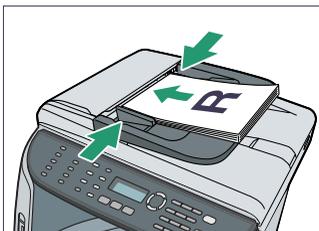
ADFを上げるときは、ADF給紙トレイを持たないでください。ADFが破損する場合があります。

原稿ガラス



BSM0735

ADF



BSP4125

↓補足

- ・ 必要に応じて、読み取り方法を設定してください。詳しくは、P.9「読み取り方法を設定する」を参照してください。



初期画面と基本的な使いかた

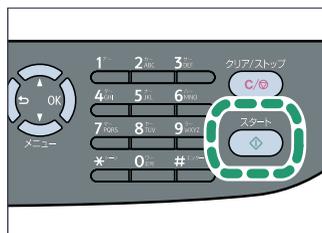


3 複数の部数をコピーするときは、テンキーでコピーする部数を入力します。

補足

- 一度にコピーできる部数は、最大で99部です。

4 [スタート] キーを押します。



BSN0305

補足

- コピーを中止するには、[コピー]キーを押して、[クリア/ストップ] キーを押します。
- 紙づまりが起きたときは、印刷中のページが排紙された後に印刷が停止します。紙づまりが解消されると、つまったページから印刷が再開されます。
- ADFで紙づまりが起きたときは、コピーはキャンセルされます。この場合は、つまったページからコピーをやり直してください。

参照

- 紙づまりを取り除くには、P.31「紙づまりを取り除く」を参照してください。
- 使用できる原稿について詳しくは、『操作ガイド』④「原稿について」を参照してください。

読み取り方法を設定する

❖ 拡大・縮小してコピーする

拡大・縮小の倍率を設定する方法を説明します。

倍率の設定には、固定の倍率を選択する方法と、手動で倍率を指定する方法があります。

- 1.[拡大/縮小] キーを押します。
- 2.[拡大/縮小] キーか [▲][▼] キーを押して倍率を選び、[OK] キーを押します。
- 3.[カスタム 25-400%] を選択した場合は、テンキーを使って倍率を指定し、[OK] キーを押します。

❖ 複数のページを1枚の用紙に集約してコピーする

重要

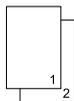
- ・この機能は、ADFでコピーするときのみ使用できます。原稿ガラスでコピーするときは使用できません。
- ・この機能を使用するには、コピー用の用紙のサイズを、あらかじめA4、Letter、またはLegalサイズに設定してください。

本機の設定を、2ページまたは4ページを集約してコピーするように変更できます。

- 1.[拡大/縮小] キーを押します。
- 2.[拡大/縮小] キーか [▲][▼] キーを押して [2 in 1] か [4 in 1] を選び、[OK] キーを押します。
- 3.[▲][▼] キーを押してコピーの仕上がりを選び、[OK] キーを押します。
お好みに応じて、コピーの仕上がりを以下の種類から選択できます。

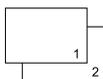
2ページ集約するときのコピーの仕上がり

[タテ]



BSP0945

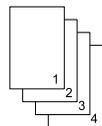
[ヨコ]



BSP0965

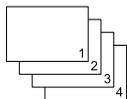
4ページ集約するときのコピーの仕上がり

[タテ:ヒダリ->ミギ]



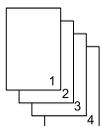
BSP0965

[ヨコ:ヒダリ->ミギ]



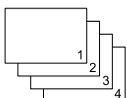
BSP0965

[タテ:ウエ->シタ]



BSP0970

[ヨコ:ウエ->シタ]



BSP0965

読み取り方法を設定する

❖ 両面コピーをする

★重要

- ・両面印刷の原稿を用紙の両面にコピーすることはできません。
- ・この機能は、ADFでコピーするときのみ使用できます。原稿ガラスでコピーするときは使用できません。
- ・両面コピーに使用できる用紙のサイズは、A4、Letter、またはLegalです。
- ・両面コピーに使用できる用紙の種類は、普通紙、薄紙、厚紙1（100～105 g/m²の用紙のみ）、再生紙、色紙、印刷済み紙、またはパンチ済み紙です。

以下の手順に従って、両面コピーをするように設定します。

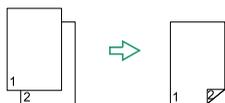
1. [コピー]キーを押します。
2. メニューキーを押します。
3. [▲][▼]キーを押して [リョウメンコピー] を選び、 [OK] キーを押します。
4. [▲][▼]キーを押して [ジョウゲ ヒラキ] か [サウウ ヒラキ] を選び、 [OK] キーを押します。
5. [▲][▼]キーを押して [タテ] か [ヨコ] を選び、 [OK] キーを押します。
6. 設定を確認してから、[スタート]キーを押します。
7. [クリア/ストップ]キーを押して初期画面に戻ります。

両面コピーを設定したら、操作部の画面に「リョウメン」と表示されます。

お好みに応じて、コピーの仕上がりを以下の種類から選択できます。

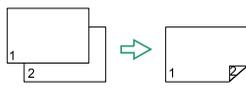
左右開きするときのコピーの仕上がり

[タテ]



BSP1015

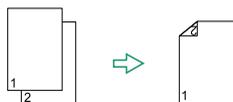
[ヨコ]



BSP1025

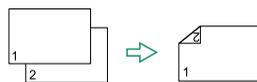
上下開きするときのコピーの仕上がり

[タテ]



BSP1035

[ヨコ]



BSP1045

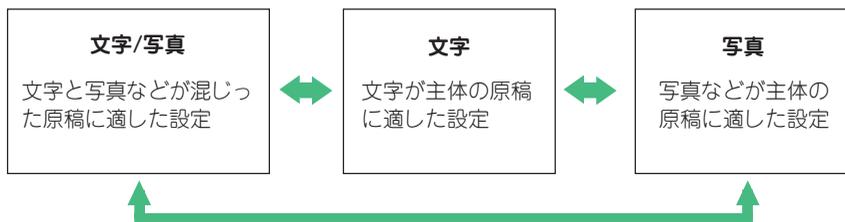
↓補足

- ・いったん両面コピーに設定すると、[リョウメンコピー] で [シナイ] を選んでキャンセルするまで、それ以降のコピーはすべて両面コピーになります。

❖ 原稿の読み取り方法を選択する

原稿の種類に合わせて、最適な読み取り方法を選択できます。

1. [原稿種類/解像度] キーを押します。
2. [原稿種類/解像度] キーが[▲][▼]キーを押して読み取り方法を選び、[OK] キーを押します。



❖ 濃度を調整する

濃度を調整する方法を説明します。

1. [濃度] キーを押します。
2. [濃度] キーが[▲][▼]キーを押して濃度を選び、[OK] キーを押します。



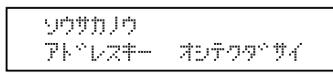
目 参照

- ・コピー機能について詳しくは、『操作ガイド』④「コピー機能を使う」を参照してください。
- ・ご使用の状況に合わせて、本機の初期設定を変更できます。詳しくは、『操作ガイド』④「操作部で設定する」を参照してください。

初期画面と基本的な使いかた

以下の画面は、本機がスキャナーモードのときの初期画面です。

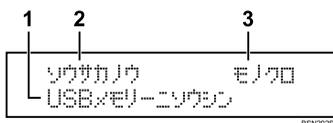
❖ USBメモリーを差し込んでいないときの初期画面



スキャンしたファイルは、あらかじめ設定したあて先に送信できます。あて先には、メールのあて先、FTPサーバー、パソコンの共有フォルダーがあります。

❖ USBメモリーを差し込んでいるときの初期画面

スキャンしたファイルは、本機に差し込んだUSBメモリーに保存されます。



1. USBメモリー送信モードになっていることを表示します。
2. 本機の状態を表示します。
3. スキャンのカラーモードを表示します。

★重要

- ・USBメモリーが差し込まれていると、USBメモリー送信以外のスキャン操作はできません。
- ・スキャナーのあて先は、Web Image Monitorを使って、あらかじめ登録しておく必要があります（USBメモリー送信のあて先は登録する必要ありません）。詳しくは、『操作ガイド』㊦「スキャナーのあて先を登録する」を参照してください。
- ・メールでファイルを送るには、あらかじめSMTPとDNSの設定をしておく必要があります。詳しくは、『操作ガイド』㊦「Web Image Monitorを使って設定する」を参照してください。
- ・重要な書類を送信する場合は、事前に受信者と確認しておくことをお勧めします。
- ・市販されているすべてのUSBメモリーで動作を保障するものではありません。
- ・ADFと原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADFの原稿が優先されます。
- ・スキャナー設定の[カラーモード センタク]で、カラーでスキャンするか白黒でスキャンするか設定できます。[カラーモード センタク]について詳しくは、『操作ガイド』㊦「スキャナー機能の設定」を参照してください。
- ・印刷品質の低下や紙づまりを防ぐために、ホッチキスの針・クリップ・付せんがついた原稿、貼り合わせた原稿、修正液やインクが完全に乾いていない原稿は使用しないでください。

❖ Eメール送信/FTP送信/フォルダー送信をする

1 [スキャナー] キーを押します。

右の画面が表示されていることを確認してください。

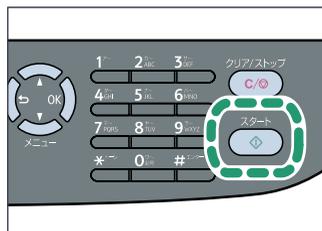


初期画面と基本的な使いかた



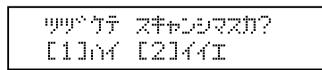
6 [スタート] キーを押します。

本機の設定によっては、原稿ガラスに追加原稿があるかないかを確認するメッセージが画面に表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。



BSN0305

本機の設定によっては、原稿ガラスでスキャンをしていると右の画面が表示されます。この画面が表示されたら、次の手順に進んでください。



AZZ095

7 追加原稿がある場合は、次の原稿を原稿ガラスにセットしてから [1] を押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

8 すべての原稿を読み取ったら、[2] を押してファイルを送信します。

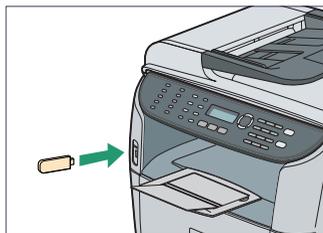
3

❖ USBメモリーに送信する

1 USBメモリーを本機の前面左側にあるポートに差し込みます。

↓ 補足

- ・USBメモリーは、本機のポートに直接差し込んでください。USBハブなどはご使用になれません。



BSP194S

2 [スキャナー] キーを押します。

画面に"カクニンチュウ..."と表示されます。右の画面が表示されるまでお待ちください（表示されるまでの時間は、USBメモリーによって異なります）。本機の設定によっては、"モノクロ"の代わりに"フルカラー"、"グレースケール"と表示されます。

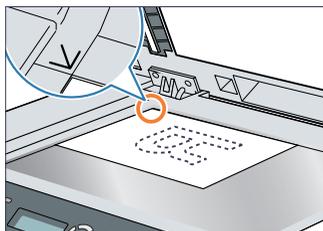


BSP203S

3 ADFでスキャンする場合は、原稿の読み取り面を上にしてADFにセットし、原稿ガラスでスキャンする場合は、原稿の読み取り面を下にして原稿ガラスにセットします。

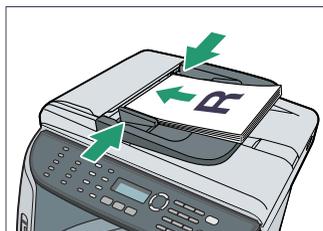
ADFを上げるときは、ADF給紙トレイを持たないでください。ADFが破損する場合があります。

原稿ガラス



BSP073S

ADF



BSP412S

↓ 補足

- ・必要に応じて、読み取り方法を設定してください。詳しくは、P.18「読み取り方法を設定する」を参照してください。

3

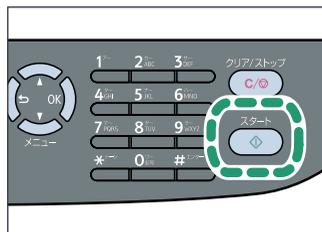


初期画面と基本的な使いかた



4 [スタート] キーを押します。

スキャンのカラーモードによって、以下の画面が表示されます。



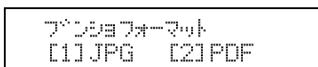
BSN2005

モノクロのとき：



BSN2045

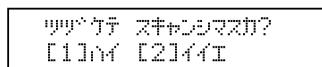
フルカラー/グレースケールのとき：



BSN2055

5 [1]か[2]を押して、ファイルを保存する形式を選びます。

本機の設定によっては、原稿ガラスでスキャンをしていると右の画面が表示されます。この画面が表示されたら、手順6に進んでください。それ以外の場合は、手順8に進んでください。



AZZ295

3

6 追加する原稿がある場合は、次の原稿を原稿ガラスにセットしてから[1]を押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

7 すべての原稿を読み取ったら、[2]を押してファイルを送信します。

8 画面に"ソウサカノウ"と表示されるまでお待ちください。

スキャンしたファイルは、USBメモリーのルート階層に保存されます。

9 USBメモリーを本機から取り外します。

補足

- ・ スキャンを中止するには、[スキャナー]キーを押して、[クリア/ストップ]キーを押します。スキャンを中止すると、スキャンしたファイルは破棄されます。
- ・ ADFで紙づまりが発生した場合は、スキャンしたファイルは破棄されます。この場合は、すべての原稿を再度スキャンしてください。

参照

- ・ ADFでつまった用紙を取り除くには、P.39「ADFから紙づまりを取り除く」を参照してください。
- ・ ワンタッチキーか [ポーズ/リダイヤル] キーを使って、あて先を指定することもできます。詳しくは、『操作ガイド』④「スキャナー機能を使う」を参照してください。
- ・ 使用できる原稿について詳しくは、『操作ガイド』④「原稿について」を参照してください。

読み取り方法を設定する

❖ 解像度を設定する

解像度を調整する方法を説明します。

1. [原稿種類/解像度] キーを押します。
2. [原稿種類/解像度] キーか [▲][▼] キーを押して解像度を選び、[OK] キーを押します。

❖ 濃度を調整する

濃度を調整する方法を説明します。

1. [濃度] キーを押します。
2. [濃度] キーか [▲][▼] キーを押して濃度を選び、[OK] キーを押します。



❖ 読み取りサイズを設定する

原稿のサイズに合わせて読み取りサイズの設定をする方法を説明します。

1. [拡大/縮小] キーを押します。
2. [拡大/縮小] キーか [▲][▼] キーを押して読み取りサイズを選び、[OK] キーを押します。

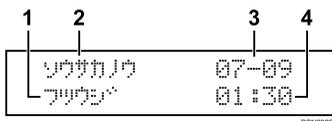
不定形の読み取りサイズを指定するには、『操作ガイド』④「原稿のサイズに合わせて読み取りサイズを設定する」を参照してください。

目 参照

- ・パソコンから本機を操作してスキャンする方法 (TWAIN) や、その他のスキャナー機能について詳しくは、『操作ガイド』④「スキャナー機能を使う」を参照してください。
- ・ご使用の状況に合わせて、本機の初期設定を変更できます。詳しくは、『操作ガイド』④「操作部で設定する」を参照してください。

初期画面と基本的なファクスの送りかた

この画面は、本機がファクスモードのときの初期画面です。



1. ファクスの解像度を表示します。
2. 本機の状態を表示します。
3. 現在の日付を表示します。
4. 現在の時刻を表示します。

★重要

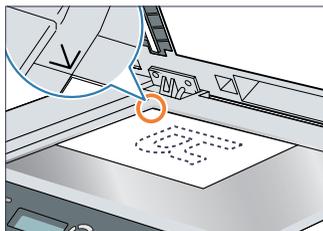
- ・あらかじめ本機に電話線を接続し、ファクス送信に関する設定をしておく必要があります。
- ・ADFと原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADFの原稿が優先されます。
- ・重要な書類を送信する場合は、事前に受信者と確認しておくことをお勧めします。
- ・印刷品質の低下や紙づまりを防ぐために、ホッチキスの針・クリップ・付せんがついた原稿、貼り合わせた原稿、修正液やインクが完全に乾いていない原稿は使用しないでください。

1 [ファクス] キーを押します。

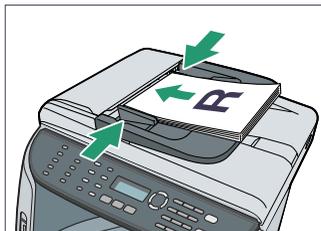
2 ADFを使う場合は、原稿の読み取り面を上にしてADFにセットし、原稿ガラスを使う場合は、原稿の読み取り面を下にして原稿ガラスにセットします。

ADFを上げるときは、ADF給紙トレイを持たないでください。ADFが破損する場合があります。

原稿ガラス



ADF



↓補足

- ・必要に応じて、読み取り方法を設定してください。詳しくは、P.24「読み取り方法を設定する」を参照してください。



初期画面と基本的なファクスの送りかた

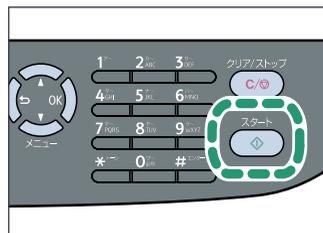


- 3** テンキーを使ってあて先のファクス番号(最大40桁)を入力するか、番号が登録されているワンタッチキーを押します。

ワンタッチキーの01~10番と11~20番を切り替えるには [シフト] キーを押します。

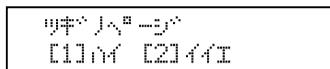
- 4** [スタート] キーを押します。

本機の設定によっては、原稿ガラスに追加する原稿があるかないかを確認するメッセージが画面に表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。



BSN0305

- 5** 追加の原稿がある場合は、60秒以内に [1] を押し、原稿ガラスに原稿をセットしてから、[OK] キーを押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。



AZ23915

60秒以内に [1] が押されなかった場合は、本機はあて先へのダイヤルを開始します。

6

すべての原稿を読み取ったら、[2] を押してファクスを送信します。

補足

- ・ファクスの送信を中止するには、[ファクス]キーを押して、[クリア/ストップ] キーを押します。
- ・ファクス番号には、0～9までの数字、ポーズ、「*」、「#」、およびスペースが使用できません。
- ・必要に応じて、ファクス番号にポーズを入れてください。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。
- ・パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。
- ・ADFで紙づまりが起きた場合、つまったページは正しく読み取られていません。直接送信モードだった場合は、つまったページから送信し直してください。メモリー送信モードだった場合は、すべてのページを送信し直してください。

参照

- ・紙づまりを取り除くには、P.31「紙づまりを取り除く」を参照してください。
- ・ワンタッチキーにワンタッチダイヤルを登録する方法については、P.22「ワンタッチダイヤルを登録する」を参照してください。
- ・あて先は、短縮ダイヤル、またはリダイヤルで指定することもできます。また、複数のあて先に対して同報送信することも可能です。詳しくは、『操作ガイド』④「ファクス機能を使う」を参照してください。
- ・本機は、ファクスを送信した後、自動的に送信レポートを印刷するように初期設定されています。この設定を変更するには、『操作ガイド』④「ファクスの機器設定」を参照してください。
- ・使用できる原稿について詳しくは、『操作ガイド』④「原稿について」を参照してください。

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチキーにワンタッチダイヤルを登録する方法について説明します。

1 [初期設定] キーを押します。

2 [▲][▼] キーを押して [ファクス アドレスチャウ] を選び、
[OK] キーを押します。

↓ 補足

・パスワードの入力画面が表示された場合は、管理者の方に登録を依頼してください。

3 [▲][▼] キーを押し、[ワンタッチキー ニュウリョク] を
選び、[OK] キーを押します。

4 [▲][▼] キーを押して ワンタッチダイヤル (01~20) を選び、
[OK] キーを押します。

5 [▲][▼] キーを押して [ファクスNo. ニュウリョク] を選び、
[OK] キーを押します。

6 ファクス番号 (最大40桁) を入力し、[OK] キーを押します。
0~9までの数字、ポーズ、「*」、「#」、およびスペースが使用できます。

7 [▲][▼] キーを押して [ファクスメイ ニュウリョク] を選び、
[OK] キーを押します。

8 あて先名 (半角英数字/半角カナで最大20文字) を入力し、[OK]
キーを押します。

文字、数字、記号が使用できます。漢字・ひらがなは入力できません。

9

設定を確認してから [OK] キーを押します。

10

[クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

目 参照

- 短縮ダイヤルを登録する方法については、『操作ガイド』④「ファクスのあて先を登録する」を参照してください。

❖ 文字を入力する

名前を入力するときは、テンキーを繰り返し押し文字を入力します。

テンキー	キーを押す回数																																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
1	アイウエオ	アイウエオ	1																														
2	カキクケ	カキクケ	2																														
3	サシスセ	サシスセ	3																														
4	タチツテ	タチツテ	4																														
5	ナニヌネ	ナニヌネ	5																														
6	ハヒフヘ	ハヒフヘ	6																														
7	マミムメモ	マミムメモ	7																														
8	ヤユヨ	ヤユヨ	8																														
9	ラリルレ	ラリルレ	9																														
0	ワヲン	ワヲン	0	-	!	"	;	:	^	`	_	=	/		'	?	\$	@	%	&	+	()	[]	{	}	<	>				
*	*	*	*																														
#	#	#	#	「	」	,	・	-	#																								

AZZ0065

このモードでは、以下のキーを使用します。

- 文字を入力する
入力したい文字が表示されるまでテンキーを繰り返し押します。
同じテンキーで入力する文字が2つ続く場合、最初の文字を入力した後に [▼] キーを押します。
- スペースを挿入する
スペースを挿入したい位置にカーソルを置き、[▼] を長押しします。
右端にスペースを入力したいときは、カーソルを右端に置いて、[▼] キーを2回押しします。
- カーソルを左右に移動させる
カーソルを左に動かすには [▲] キーを、右に動かすには [▼] キーを押します。
文字にカーソルを置いた状態で新しく文字を入力すると、カーソルの位置にある文字が右にずれます。
- 文字を削除する
削除したい文字にカーソルを置いて、[▲] キーを長押しします。
- 文字をすべて削除する
[クリア/ストップ] キーを押します。

補足

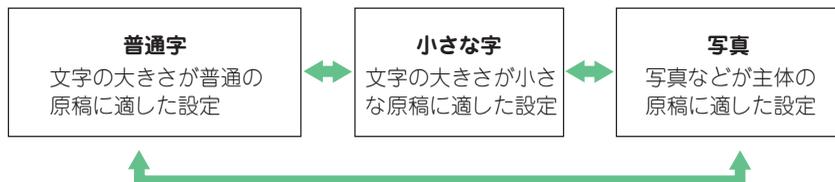
- 漢字・ひらがなは入力できません。
- 文字がすでに入力制限桁数に達している場合は、それ以上の文字の入力はできません。

読み取り方法を設定する

❖ 解像度を設定する

解像度を調整する方法を説明します。

- 1.[原稿種類/解像度] キーを押します。
- 2.[原稿種類/解像度] キーが [▲][▼] キーを押して解像度を選び、[OK] キーを押します。



❖ 濃度を調整する

濃度を調整する方法を説明します。

- 1.[濃度] キーを押します。
- 2.[濃度] キーが [▲][▼] キーを押して濃度を選び、[OK] キーを押します。



目 参照

- ・ファクス機能について詳しくは、『操作ガイド』④「ファクス機能を使う」を参照してください。
- ・ご使用の状況に合わせて、本機の初期設定を変更できます。詳しくは、『操作ガイド』④「操作部で設定する」を参照してください。

操作部にメッセージが表示されたとき

"O"の部分は、用紙のサイズや種類、トレイの名前、エラーコードなど、状況に応じて異なる表示がされる部分を表します。

以下の表に記載されていないメッセージについては、『操作ガイド』④「操作部にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

メッセージ (アルファベット/50音順)	原因	対処方法
K カートリッジコウカン	トナーカートリッジが空になっています。	トナーカートリッジを交換してください。P.42「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
K カートリッジヨウイ	トナーカートリッジが残りわずかです。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
USBセツダン クリアキーヲ オシテ クダサイ	USBメモリ送信が完了する前にUSBメモリが抜けたため、USBメモリ送信に失敗しました。	USBメモリは本機にしっかりと差し込んで下さい。操作部に「ソウサカノウ」と表示されるまで、USBメモリを抜かないでください。
USBメモリー フテキ セツ クリアキーヲ オシテ クダサイ	破損したUSBメモリを使用したため、USBメモリ送信に失敗しました。	正常に動作するUSBメモリを使ってください。
USBメモリーフル クリアキーヲ オシテ クダサイ	USBメモリーの空き容量が不足して、USBメモリ送信に失敗しました。	空き容量が十分なUSBメモリを使ってください。
アテサキガトウロクサ レテイマセン	このワンタッチキーには、番号が登録されていません。	<ul style="list-style-type: none"> 別のワンタッチキーを押してください。 ワンタッチキーに番号を登録してください。P.22「ワンタッチダイヤルを登録する」を参照してください。
インサツチュウシ インターフェースキリ カエジカン	他のポートからのデータによって印刷が頻繁に妨害されているか、処理に時間がかかるデータを印刷しています。	[キキセツテイ]の[インターフェースキリカエジカン]が15秒に設定されていたら、待ち時間を長く設定してください。詳しくは、『操作ガイド』④の「機器設定」を参照してください。
カキコミ ホゴ クリアキーヲ オシテ クダサイ	USBメモリへのアクセスが正常に行われず、USBメモリ送信に失敗しました。	パスワードの設定や書き込みの制限がされていないUSBメモリを使ってください。

操作部にメッセージが表示されたとき

メッセージ (アルファベット/50音順)	原因	対処方法
カバーオープン	カバーが開いています。	カバーをしっかりと閉じてください。
キョウセイインサツシ マスカ? スタートキーマタハク リアキーヲオンシテク ダサイ	トナーが空になっています。	〔スタート〕キーを押して印刷を始めるか、または〔クリア/ストップ〕キーでジョブをキャンセルし、トナーカートリッジを交換してください。P.42 「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
サポートシテイマセン USBハブヲトリハズ シテクダサイ	USBハブが接続されています。	USBメモリーは、本機のポートに直接差し込んでください。USBハブはご使用になれません。
サポートシテイマセン トリハズシテクダサイ	USBメモリー以外のUSB機器が接続されていたため、USBメモリー送信に失敗しました。	USBメモリーを使ってください。
テサシトレイニ ヨウ シヲ ホキユウシテクダサイ	手差しトレイに用紙がセットされていません。	手差しトレイに用紙をセットしてください。『操作ガイド』㊦ 「用紙をセットする」を参照してください。
テサシ： プリント ジョブ ヨウシサイズヲ カク ニン	設定した用紙サイズが、手差しトレイの用紙サイズと異なります。	〔スタート〕キーを押して印刷を始めるか、または〔クリア/ストップ〕キーでジョブをキャンセルします。
テサシ： プリント ジョブ ヨウシシュルイヲ カ クニン	設定した用紙の種類が、手差しトレイの用紙の種類と異なります。	〔スタート〕キーを押して印刷を始めるか、または〔クリア/ストップ〕キーでジョブをキャンセルします。
トナーカートリッジヲ タダシクセットシテク ダサイ	トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。	トナーカートリッジをセットしなおしてください。P.42 「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
トレイ〇ニ ヨウシヲ ホキユウシテクダサイ	給紙トレイの用紙がなくなりました。	トレイ1かトレイ2に用紙をセットしてください。『操作ガイド』㊦ 「用紙をセットする」を参照してください。

メッセージ <small>(アルファベット/50音順)</small>	原因	対処方法
トレイ○：プリント ジョブ ヨウシサイズヲ カク ニン	設定した用紙サイズが、給紙トレイの中 の用紙サイズと異 なっています。	[スタート] キーを押して印刷を始 めるか、または [クリア/ストップ] キーでジョブをキャンセルします。
トレイ○：プリント ジョブ ヨウシシュルイヲ カ クニン	設定した用紙の種類 が、給紙トレイの中 の用紙の種類と異 なっています。	[スタート] キーを押して印刷を 始めるか、または [クリア/ストップ] キーでジョブをキャンセルし ます。
ファクスジョブメモ リーフソク	メモリー送信、 オートリダイヤ ル、または同報送 信をするときは、 ファクスがメモ リーに保管されま す。メモリーが一 杯になると、新し いジョブは保管さ れません。	保留中のジョブが送信されるまでお 待ちください。
ブンショアクセス エ ラー クリアキーヲ オシテ クダサイ	USBメモリーへの アクセスが正常に 行われず、USBメ モリー送信に失敗 しました。	パスワードの設定や書き込みの制限 がされていないUSBメモリーを 使ってください。
ブンショサクセイ エ ラー クリアキーヲ オシテ クダサイ	USBメモリーの 空き容量が不足し て、USBメモ リー送信に失敗し ました。	空き容量が十分なUSBメモリーを 使ってください。
ミスフィード:ADF カ バー アケテトリノゾイテ クダサイ	ADF内部で原稿が つまっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ つまった原稿を取り除いて、セッ トしなおしてください。 P. 39「ADFから紙づまりを取り 除く」を参照してください。 ・ 使用している原稿が本機で読み取 り可能なものか確認してくださ い。『操作ガイド』④「自動原 稿送り装置 (ADF) にセットでき ない原稿」を参照してください。

操作部にメッセージが表示されたとき

メッセージ <small>(アルファベット/50音順)</small>	原因	対処方法
メモリーフル 1.ソウシン 2.キャンセル	メモリー送信モードでファクスを送信しようとしたとき、読み取り中にメモリーが許容量に達しました。	メモリーへの読み込みが終了したページのみを送信するには [1] を、送信を中止するには [2] を押してください。
ヨウシミスフィード テサシトレイ	印刷中に紙づまりが発生しました。	用紙を取り除いてください。 P.33「手差しトレイから紙づまりを取り除く」を参照してください。
ヨウシミスフィード トレイ1	印刷中に紙づまりが発生しました。	用紙を取り除いてください。 P.31「本体内部/トレイから紙づまりを取り除く」を参照してください。
ヨウシミスフィード トレイ2	印刷中に紙づまりが発生しました。	用紙を取り除いてください。 P.31「本体内部/トレイから紙づまりを取り除く」を参照してください。
ヨウシミスフィード ホンタイナイブ	印刷中に紙づまりが発生しました。	用紙を取り除いてください。 P.31「本体内部/トレイから紙づまりを取り除く」を参照してください。
ヨウシミスフィード ホンタイハイシグチ	印刷中に紙づまりが発生しました。	用紙を取り除いてください。 P.35「排紙口/両面ユニットから紙づまりを取り除く」を参照してください。
ヨウシミスフィード リョウメンユニット	印刷中に紙づまりが発生しました。	用紙を取り除いてください。 P.35「排紙口/両面ユニットから紙づまりを取り除く」を参照してください。

きれいに印刷や読み取りができない

❖ 印刷結果やスキャン結果が、濃すぎたり薄すぎたりする

濃度の設定が原稿に合っていない可能性があります。濃度を調節してください。
詳しくは、P.11「濃度を調整する」（コピー機能をお使いの場合）、P.18「濃度を調整する」（スキャナー機能をお使いの場合）を参照してください。

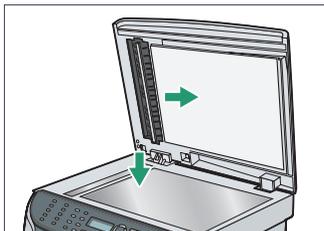
❖ コピーした紙やスキャンしたファイルに汚れがある

原稿のインクや修正液が乾燥していない可能性があります。原稿をセットする前に、インクや修正液が乾いているか確認してください。

❖ コピーやスキャンをするたびに、同じ部分が汚れる

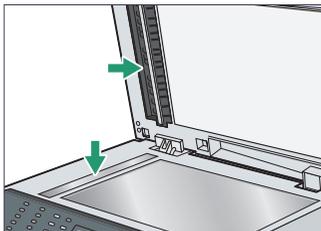
原稿ガラスやADFが汚れているかもしれません。原稿ガラスとADFを清掃してください。矢印の箇所を水にぬらしたやわらかい布で拭き、その後乾拭きをして水気を十分に取ってください。詳しくは、『操作ガイド』⑤「本機を清掃する」を参照してください。

原稿ガラス



BSP0795

ADF



BSP0805

ファクスの送受信がうまくいかない

❖ ファクスの送受信ができない

モジュラーケーブルが外れているかもしれません。モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。詳しくは、『操作ガイド』④「電話回線に接続する」を参照してください。

❖ 送信はできるが受信ができない

- ・ トナーがなくなっているかもしれません。トナーカートリッジを交換してください。詳しくは、P.42「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- ・ 用紙がなくなっているかもしれません。トレイに用紙をセットしてください。詳しくは、『操作ガイド』④「用紙をセットする」を参照してください。

❖ 白紙で送信される

原稿の表と裏が反対にセットされている可能性があります。正しくセットしなおしてください。詳しくは、『操作ガイド』④「原稿をセットする」を参照してください。

❖ 受信したファクスが印刷できない

- ・ ファクス印刷用のトレイに、ファクス印刷が可能なサイズ（A4、Letter、Legal）の用紙がセットされていない可能性があります。トレイの設定を変更して、適切なサイズの用紙をセットしてください。詳しくは、『操作ガイド』④「ファクスの機器設定」を参照してください。
- ・ 用紙がなくなっているかもしれません。トレイに用紙をセットしてください。詳しくは、『操作ガイド』④「用紙をセットする」を参照してください。

本体内部 / トレイから紙づまりを取り除く

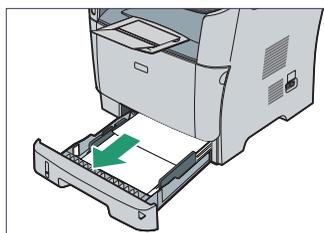
⚠ 注意

- ・ 機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。
- ・ 紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- ・ 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

★重要

- ・ つまった用紙には、トナーが付着していることがあります。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- ・ 紙づまりを取り除いた直後は、印刷面のトナーが溶けたり、にじんだりすることがあります。トナー汚れがなくなるまで、テストページを印刷してください。
- ・ つまった紙を無理に引き出さないようにしてください。破れることがあります。内部に紙片が残っていると、紙づまり再発の原因となり、本機が破損する恐れがあります。

- 1 トレイ1を途中まで引き出して紙づまりを確認し、紙があったらゆっくり取り除きます。



- 2 トレイ1をゆっくりと元に戻します。

- 3 手差しトレイに紙がセットされていたら紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

- 4 前カバーの横のボタンを押して、ゆっくりと前カバーを開けます。

6

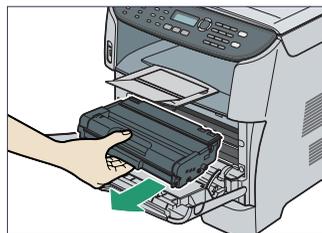


本体内部 / トレイから紙づまりを取り除く



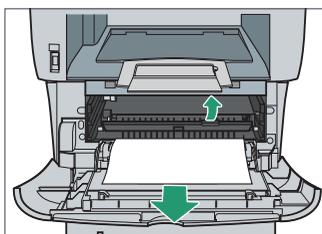
5 トナーカートリッジを、中央の取っ手を持ってゆっくりと水平に引き出します。

- ・取り出したトナーカートリッジは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。
- ・床等を汚さないよう、トナーカートリッジは紙の上等に置いてください。



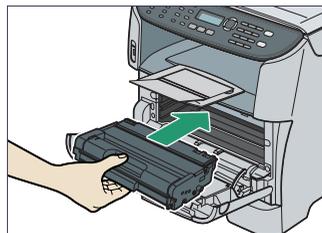
BSP0365

6 ガイド板を持ち上げて、紙をゆっくりと取り除きます。



BSP1215

7 トナーカートリッジを水平に差し込み、突き当たったら少し持ち上げて、ゆっくりと最後まで差し込みます。その後、トナーカートリッジを下に押し、しっかりと固定します。



BSP0395

8 前カバーを両手でゆっくりと閉じます。

補足

- ・トレイ2 で紙づまりが発生し、位置を特定しにくいときは、トレイ2 を引き出して用紙を取り除いてください。紙づまりを取り除いた後、トレイ2 をゆっくりと戻します。
- ・カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

手差しトレイから紙づまりを取り除く

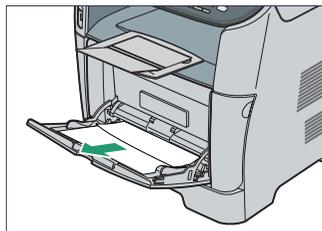
⚠ 注意

- ・機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。
- ・紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- ・衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

★重要

- ・つまった用紙には、トナーが付着していることがあります。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- ・紙づまりを取り除いた直後は、印刷面のトナーが溶けたり、にじんだりすることがあります。トナー汚れがなくなるまで、テストページを印刷してください。
- ・つまった紙を無理に引き出さないようにしてください。破れることがあります。内部に紙片が残っていると、紙づまり再発の原因となり、本機が破損する恐れがあります。

1 手差しトレイの給紙口で紙がつまっていたら、ゆっくりと取り除きます。



BSP2365

2 手差しトレイを閉めます。

3 前カバーの横のボタンを押して、ゆっくりと前カバーを開けます。

6



手差しトレイから紙づまりを取り除く



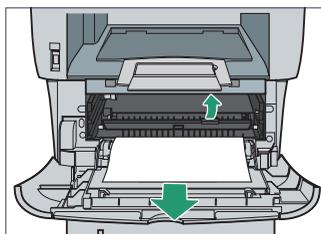
4 トナーカートリッジを、中央の取っ手を持ってゆっくりと水平に引き出します。

- ・ 取り出したトナーカートリッジは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。
- ・ 床等を汚さないよう、トナーカートリッジは紙の上等に置いてください。



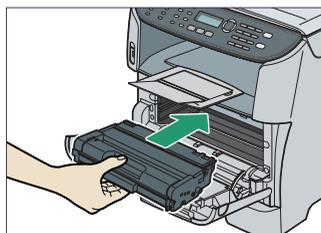
BSP0365

5 ガイド板を持ち上げて、紙をゆっくりと取り除きます。



BSP1215

6 トナーカートリッジを水平に差し込み、突き当たったら少し持ち上げて、ゆっくりと最後まで差し込みます。その後、トナーカートリッジを下に押し、しっかりと固定します。



BSP0365

7 前カバーを両手でゆっくりと閉じます。

↓ 補足

- ・ カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

6

排紙口 / 両面ユニットから紙づまりを取り除く

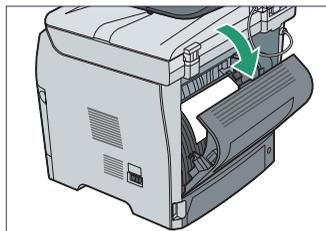
⚠ 注意

- ・機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。
- ・紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- ・衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

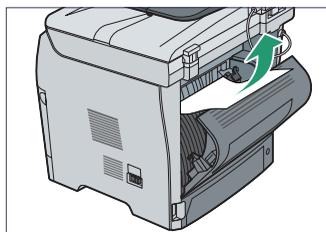
★重要

- ・つまった用紙には、トナーが付着していることがあります。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- ・紙づまりを取り除いた直後は、印刷面のトナーが溶けたり、にじんだりすることがあります。トナー汚れがなくなるまで、テストページを印刷してください。
- ・つまった紙を無理に引き出さないようにしてください。破れることがあります。内部に紙片が残っていると、紙づまり再発の原因となり、本機が破損する恐れがあります。

1 背面カバーを開けます。



2 紙をゆっくりと取り除きます。

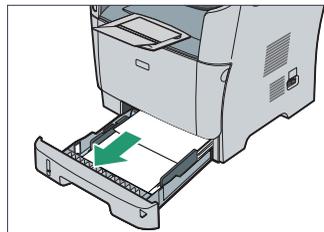


排紙口 / 両面ユニットから紙づまりを取り除く



3 背面カバーを閉めます。

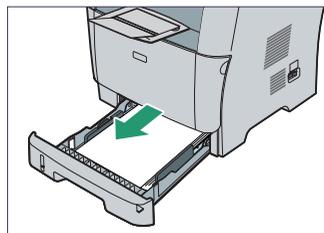
4 トレイ1を途中まで引き出して紙づまりを確認し、紙があったらゆっくり取り除きます。



BSP118S

5 両手でトレイを持って、完全に引き出します。

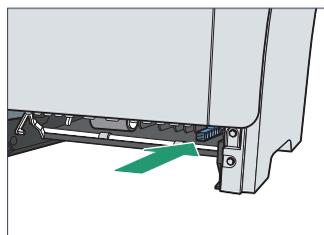
引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。



BSP295S

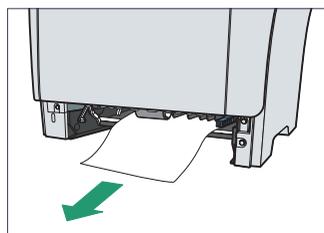
6 青いレバーを押します。

青いレバーを押すと、内部のユニットが下がってきます。



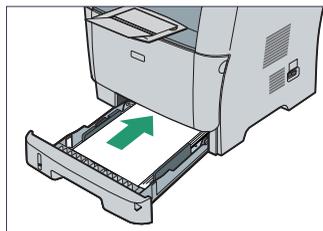
BSP237S

7 紙がつまっていたら、ゆっくりと取り除きます。



BSP120S

- 8** 内部のユニットが下がったままの状態
で、トレイ1を元に戻します。



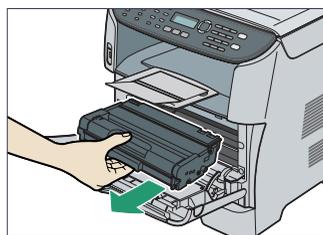
BSP0685

- 9** 手差しトレイに紙がセットされていたら紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

- 10** 前カバーの横のボタンを押して、ゆっくりと前カバーを開けます。

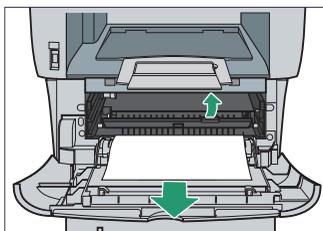
- 11** トナーカートリッジを、中央の取っ手を持ってゆっくりと水平に引き出します。

- ・ 取り出したトナーカートリッジは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。
- ・ 床等を汚さないよう、トナーカートリッジは紙の上等に置いてください。



BSP0685

- 12** ガイド板を持ち上げて、紙をゆっくりと取り除きます。



BSP1215

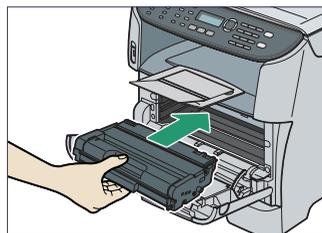
6



排紙口 / 両面ユニットから紙づまりを取り除く



- 13** トナーカートリッジを水平に差し込み、突き当たったら少し持ち上げて、ゆっくりと最後まで差し込みます。その後、トナーカートリッジを下に押し、しっかりと固定します。



BSP0385

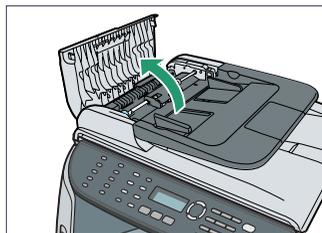
- 14** 前カバーを両手でゆっくりと閉じます。

↓ 補足

- ・カバーを閉じるときは、カバーの上の方をしっかりと押してください。カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。

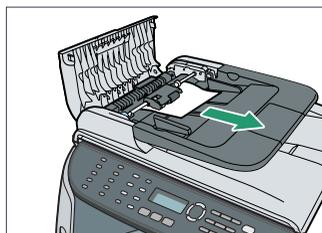
ADF から紙づまりを取り除く

1 ADFカバーを開けます。

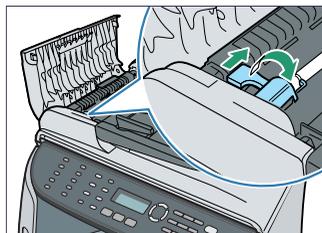


2 つまった原稿をゆっくりと引いて取り除いてください。

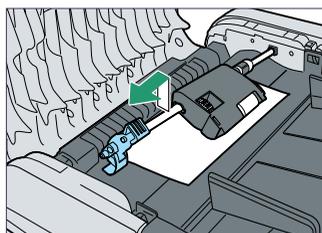
原稿を強く引っ張らないでください。破れる恐れがあります。



3 つまった用紙を簡単に取り出せない場合は、青色のレバーを奥側へ少しずらしてから上げて、給紙ローラーのロックを解除します。



4 給紙ローラーをゆっくり取り外します。



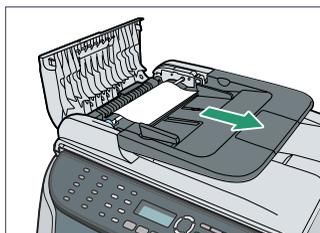
6



ADF から紙づまりを取り除く

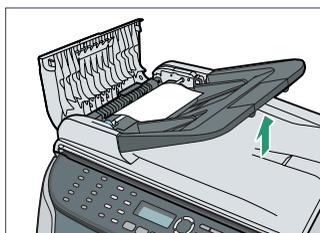


- 5** つまった原稿をゆっくりと引いて取り除きます。



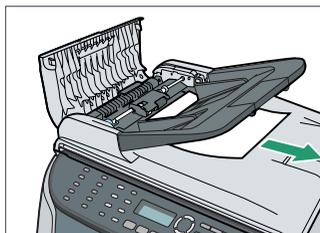
BSP1275

- 6** つまった用紙を簡単に取り除けない場合は、給紙トレイを上げ、排紙口付近に用紙がつまっていないか確認します。



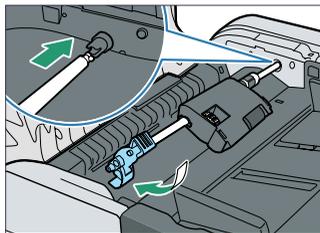
BSP1285

- 7** つまった原稿をゆっくりと引いて取り除きます。



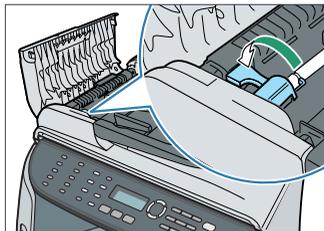
BSP1295

- 8** ローラー部分を下に向け、先端を本体の切りかきに挿入し、給紙ローラーを元の位置にします。

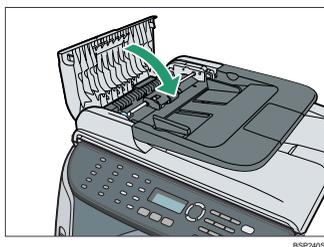


BSP0575

- 9** 青色のレバーをADFカバー側に回し、給紙ローラーをロックします。

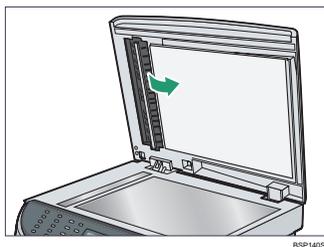


- 10** ADFカバーを閉じます。



- 11** ADFを持ち上げ、原稿がまだ残っている場合は、つまった紙をゆっくりと引き出してください。

ADFを上げるときは、ADF給紙トレイを持たないようにしてください。トレイの損傷の原因になります。



- 12** ADFを閉じます。

トナーカートリッジを交換する前に

⚠ 警告

- ・トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、またはトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。地方条例にしたがって、使用済みトナー容器を処分してください。
- ・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
- ・本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠ 注意

- ・機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。
- ・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・紙づまりの処置やトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。
トナー（使用済みトナーを含む）が手などの皮膚についた場合は、石鹼水でよく洗い流してください。
- ・衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。
- ・トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・トナー容器を無理に開けないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。
- ・カバーを開閉する際、指挟み、指のけがに注意してください。

トナーカートリッジを交換する

❖ トナーカートリッジの準備が必要なときのメッセージ

操作部に「K カートリッジ ヨウイ」と表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が間近です。新しいトナーカートリッジを用意してください。

↓ 補足

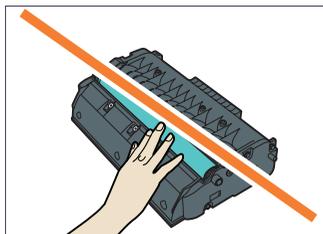
- トナーカートリッジをお買い求めの際は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。

❖ トナーカートリッジの交換が必要なときのメッセージ

操作部に「K カートリッジ コウカン」と表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期です。トナーカートリッジを交換してください。

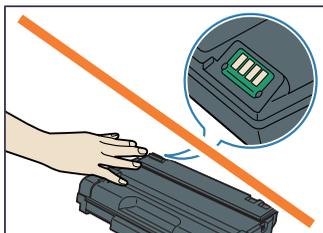
★ 重要

- 実際に印刷できる枚数は、画像の量、濃度、一度に印刷する枚数、用紙の種類、用紙サイズ、気温や湿度など環境によって異なります。
- 印刷品質を保つため、純正トナーの使用をお勧めします。
- 商品本来の性能を発揮させるために、リコー純正の消耗品をご使用ください。純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となる場合があります。（純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起すわけではありませんが、ご使用にあたっては十分ご注意ください。）
- 機械の中にゼムクリップ、ホッチキスの針、その他の小さな金属片を落とさないようにしてください。
- トナーカートリッジを直射日光に長時間さらさないでください。
- トナーカートリッジの感光体部分には触らないでください。



BSP024S

- トナーカートリッジのIDチップには触れないでください。



BSN010S

トナーカートリッジを交換する

↓ 補足

・トナーがなくなったら、トナーを交換するまで印刷できません。

1 手差しトレイに紙がセットされていたら紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

2 前カバーの横のボタンを押して、ゆっくりと前カバーを開けます。

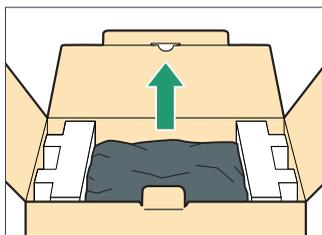
3 ご使用になったトナーカートリッジを、中央の取っ手を持って、ゆっくりと水平に引き出します。

- ・取り出したトナーカートリッジは振らないでください。トナーが飛び散る可能性があります。
- ・床等を汚さないよう、古いトナーカートリッジは紙の上等に置いてください。



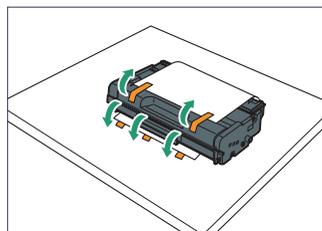
BSP0365

4 新しいトナーカートリッジを箱から取り出し、ポリ袋から取り出します。



BSP1655

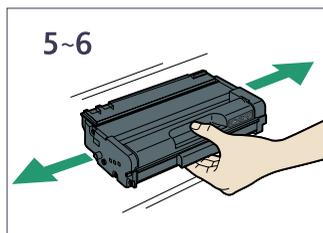
5 トナーカートリッジを平らな場所に置き、保護シートを外します。



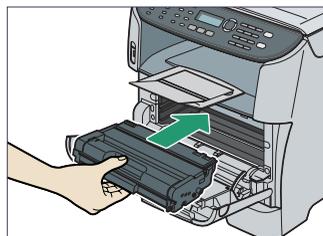
BSP0375

6 トナーカートリッジを持ち、左右に5～6回振ります。

振ることでカートリッジ内部のトナーが均一になり、印刷品質が良くなります。



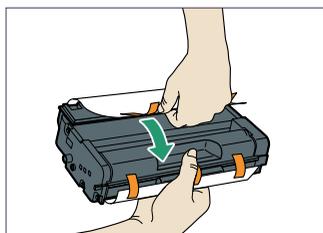
7 トナーカートリッジを水平に差し込み、突き当たったら少し持ち上げて、ゆっくりと最後まで差し込みます。その後、トナーカートリッジを下に押し、しっかりと固定します。



8 前カバーを両手でゆっくりと閉じます。指をはさまないように気をつけてください。

前カバーを閉めたあとは、初期画面が表示されるまでお待ちください。

9 古いトナーカートリッジに手順5で取り外した保護シートを取り付けます。保護シートは必ず取り付けてください。その後、トナーカートリッジをポリ袋に入れ、箱に戻します。



補足

- ・リサイクルならびに環境保全のため、使用済みトナーカートリッジには必ず保護シートを付けるようにしてください。保護シートを忘れるとトナーカートリッジが再生できなくなります。
- ・使用済みカートリッジ回収の仕組みに基づき回収を行っておりますので、回収にご協力ください。詳しくは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。

付録: 消耗品について

消耗品のご購入について

消耗品のご購入については、本機をお買い上げの販売店へご連絡ください。
または、インターネットで簡単にご注文できる、便利な NetRICOH をご利用ください。



NetRICOH のホームページ
<http://www.netricoh.com/>

消耗品一覧

商品名	商品コード	印刷可能ページ数
IPSIO SP トナーカートリッジ 3400	3 0 8 5 7 1	約 2,500 ページ
IPSIO SP トナーカートリッジ 3400H	3 0 8 5 7 2	約 5,000 ページ

補足

- ・「印刷可能ページ数」はA4サイズ5%チャートで連続印刷した場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。消耗品は使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になる場合があります。
- ・消耗品は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

使用済みカートリッジの回収について

弊社では、環境保全を優先課題の一つとし、使用済み製品の回収・リサイクルを積極的に行っております。複数の回収方法を用意しておりますので、回収にご協力ください。なお、回収方法の詳細は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.rioh.co.jp/ecology/recycle/toner/index.html>

付録: どうしても解決しないとき

おもなメッセージと対処策を確認して対処されても症状が改善されない場合、システム設定リストの印刷ができるかどうかお確かめください。

印刷ができたなら、お客様相談センターへご相談ください。印刷ができなかったら、販売店、最寄りのサービス実施店へご連絡ください。

システム設定リストは以下の手順で印刷できます。

❖ システム設定リストの印刷のしかた

- 1 [初期設定]キーを押します。
- 2 [▲][▼]キーを押して[レポートインサツ]を選び、[OK]キーを押します。
- 3 [▲][▼]キーを押して[システムセッテイリスト]を選び、[OK]キーを押します。

お問い合わせ先

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOHのホームページからご購入できます。

<http://www.netricoh.com/>

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介します。

<http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html>

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。



0120-000-475

●受付時間： 平日(月～金) 9時～18時

土曜日 9時～12時、13時～17時(祝祭日、弊社休業日を除く)

FreeDial FAX 0120-479-417

●通話料は無料です。

●音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュボタンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

最新ドライバー情報

最新版のドライバーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

<http://www.ricoh.co.jp/download/index.html>

■商標

・Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

・その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客さまの機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

IPSiO SP 3410_{SF}

クイックガイド

- 1 各部の名称
- 2 コピーのかんたんな使いかた
- 3 スキャナーのかんたんな使いかた
- 4 ファクスのかんたんな使いかた
- 5 困ったときには
- 6 紙づまりを取り除く
- 7 トナーカートリッジの交換